

視察報告書

委員会名 総務くらし建設委員会
参加者 委員長 伊藤真規子 副委員長 にしだ亮太 委員 大島令子 木村さゆり 田崎あきひさ 富田えいじ なかじま和代 山田けんたろう わたなべさつ子
視察日時 令和7年10月27日（月）から10月28日（火）
視察先・視察項目 奈良県生駒市 商工観光ビジョンについて 兵庫県芦屋市 行財政改革の推進について
視察報告 生駒市「商工観光ビジョンについて」 大阪府と京都府、奈良市などに隣接する生駒市は、単なるベッドタウンからの脱却を掲げ、多様な生き方・暮らし方を選択できる持続可能な都市構造への転換を目指す「商工観光ビジョン」を策定しました。市内就業者の約7割が市外で勤務していることから、地域内での雇用創出への取り組みや、働く場の創出、創業支援に力を入れています。特定創業支援等事業では、経営・財務・人材育成・販路開拓の基礎知識を学び、株式会社を設立する際の登録免許税の軽減や信用保証の拡大などの優遇措置が適用される仕組みを整えています。また、生駒市が主催する共創型経営実践スクール I L B H（Ikoma Local Business Hub）では、アイデアづくりから事業計画の作成、実践までを段階的に学べる講座を実施しており、創業前から創業後までの伴走型支援が設定されています。先進的な取り組みを直接伺い、本市の課題や可能性を見つめ直す機会になりました。 芦屋市「行財政改革の推進について」 芦屋市は震災の影響により危機的な財政状況に陥りましたが、大幅なコストダウンを図り、現在は本市と同様、普通交付税不交付団体となっています。さらに、人口減少局面にあって行政の効率化と財政の持続可能性を確保するために、歳出抑制と歳入確保を両輪とし、10年間の目標効果額100億円を目指して行財政改革を行っています。ただし、効率化を進めつつも、住民サービスの低下を抑えるためのバランスを重視しており、将来的な削減のための投資は別枠で当然必要だと考えています。本委員会でも、長期的な視点をもって議論を重ねていきます。